

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	212,172	0.7	12,836	14.5	13,290	13.8	8,300	7.3
2019年3月期第3四半期	210,622	3.1	15,015	10.4	15,420	10.3	8,952	13.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,406百万円 (5.9%) 2019年3月期第3四半期 6,807百万円 (54.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	41.61	
2019年3月期第3四半期	44.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	287,676	180,804	51.8
2019年3月期	287,106	179,795	51.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 149,065百万円 2019年3月期 148,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				18.00	18.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	0.9	15,300	14.1	15,700	14.5	8,600	17.4	43.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	201,699,743 株	2019年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,577,758 株	2019年3月期	2,069,706 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	199,495,658 株	2019年3月期3Q	199,630,283 株

(注)2020年3月期3Qの期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(金銭信託課税口)」が保有する当社株式(1,508,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(金銭信託課税口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、修正した連結業績予想の詳細につきましては、「決算短信補足資料」PAGE 8/8に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、全体としては緩やかな回復が続いていますが、通商問題を巡る動向、英国のEU離脱の影響や中国経済の減速などにより、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高212,172百万円（前年同期比100.7%）、売上総利益82,004百万円（前年同期比98.9%）、営業利益12,836百万円（前年同期比85.5%）、経常利益13,290百万円（前年同期比86.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,300百万円（前年同期比92.7%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、ソフトアルコール飲料は、引き続き好調に推移しましたが、焼酎や清酒が減少しましたので、酒類全体の売上高は減少いたしました。

調味料は、みりんや料理清酒の増加などにより増加し、原料用アルコール等では、酒類の原料用アルコールなどが好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、118,897百万円（前年同期比99.9%）となりました。売上原価は、71,578百万円（前年同期比100.9%）となり、売上総利益は、47,318百万円（前年同期比98.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費などが増加し、42,334百万円（前年同期比102.3%）となり、営業利益は、4,983百万円（前年同期比74.6%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、Mutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移し、海外酒類事業でも、ウイスキーなどが増加しましたので、60,461百万円（前年同期比106.4%）となりました。売上原価は、43,194百万円（前年同期比107.5%）となり、売上総利益は、17,266百万円（前年同期比103.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し、14,953百万円（前年同期比111.5%）となり、営業利益は、2,313百万円（前年同期比71.6%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬と受託サービスが増加しましたが、理化学機器が減少したこと、また前連結会計年度において、健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡した影響により、24,558百万円（前年同期比94.9%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、9,767百万円（前年同期比89.2%）となり、売上総利益は、14,791百万円（前年同期比99.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などが減少し、10,911百万円（前年同期比94.8%）となり、営業利益は、3,879百万円（前年同期比113.0%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、物流事業などは増加しましたが、前連結会計年度中に宝ヘルスケア株式会社の株式を売却し、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、24,644百万円（前年同期比96.3%）となりました。売上原価は、21,393百万円（前年同期比98.9%）となり、売上総利益は、3,251百万円（前年同期比81.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や広告宣伝費などが減少し、1,535百万円（前年同期比66.2%）となり、営業利益は、1,716百万円（前年同期比103.9%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年 同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	41,186	38,026	92.3
清酒	17,524	16,860	96.2
ソフトアルコール飲料	29,742	32,603	109.6
その他酒類	5,051	4,970	98.4
酒類計	93,505	92,460	98.9
本みりん	11,032	11,238	101.9
その他調味料	7,779	8,222	105.7
調味料計	18,811	19,461	103.5
原料用アルコール等	6,683	6,975	104.4
計	119,001	118,897	99.9
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	7,616	8,010	105.2
海外日本食材卸	50,591	53,881	106.5
その他	48	190	393.6
グループ内連結消去	△1,413	△1,622	—
計	56,843	60,461	106.4
タカラバイオグループ	25,888	24,558	94.9
報告セグメント計	201,732	203,917	101.1
その他	25,593	24,644	96.3
セグメント計	227,326	228,562	100.5
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△16,703	△16,389	—
合計	210,622	212,172	100.7

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は171,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,592百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が11,162百万円、現金及び預金が3,977百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が8,716百万円増加したことによるものであります。

固定資産は116,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,162百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が6,357百万円増加し、無形固定資産が1,795百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、287,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ569百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は61,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,212百万円増加いたしました。これは主に、固定負債からの振替により1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払酒税が1,526百万円、未払金などの流動負債その他が2,524百万円それぞれ増加し、短期借入金が5,163百万円減少したことによるものであります。

固定負債は45,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,652百万円減少いたしました。これは主に、社債が5,000百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、106,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は180,804百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,009百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が4,782百万円増加し、為替換算調整勘定が3,074百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.8% (前連結会計年度末は51.6%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2019年11月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高は、宝酒造において、最需要期である第3四半期の売上高が計画を下回ったこと等により、前回発表予想より4,000百万円下方修正いたします。

利益面につきましては、宝酒造における売上高の計画未達に加え、原材料価格のアップや運送費、販売促進費の増加、また宝酒造インターナショナルグループでの為替変動による仕入コストの上昇や運送費、人件費の高騰が続いていることなどから、営業利益を2,200百万円、経常利益を2,300百万円、それぞれ下方修正いたします。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の要因に加え、タカラバイオグループにおいて固定資産関連損失の増加が見込まれること等により、前回発表予想より1,800百万円下方修正いたします。

なお、修正した連結業績予想の詳細につきましては、「決算短信補足資料」PAGE 8 / 8に記載しております。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2019年11月12日発表)	百万円 284,000	百万円 17,500	百万円 18,000	百万円 10,400	円 銭 52.10
今回修正予想 (B)	280,000	15,300	15,700	8,600	43.20
増減額 (B - A)	△4,000	△2,200	△2,300	△1,800	—
増減率 (%)	△1.4	△12.6	△12.8	△17.3	—
ご参考：前期実績 (2019年3月期)	277,443	17,804	18,359	10,411	52.15

前回発表時予想レート 1USD=108.30円 1EUR=121.30円 1GBP=134.50円

今回発表予想レート 1USD=109.03円 1EUR=122.03円 1GBP=139.19円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,415	45,438
受取手形及び売掛金	59,780	68,497
有価証券	16,089	4,927
商品及び製品	40,600	41,212
仕掛品	1,341	1,610
原材料及び貯蔵品	4,093	5,030
その他	4,006	5,016
貸倒引当金	△315	△314
流動資産合計	175,011	171,418
固定資産		
有形固定資産	60,576	66,934
無形固定資産		
のれん	12,400	11,263
その他	7,514	6,855
無形固定資産合計	19,914	18,118
投資その他の資産		
投資有価証券	26,143	26,797
その他	5,520	4,470
貸倒引当金	△60	△64
投資その他の資産合計	31,603	31,204
固定資産合計	112,094	116,257
資産合計	287,106	287,676
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,374	16,971
短期借入金	9,960	4,796
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	10,224	11,751
未払費用	5,809	5,455
未払法人税等	1,879	1,613
引当金	4,681	4,029
その他	8,891	11,416
流動負債合計	57,822	61,034
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	5,415	5,454
退職給付に係る負債	8,757	8,775
長期預り金	5,337	5,331
その他	4,977	6,275
固定負債合計	49,489	45,836
負債合計	107,311	106,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,417	2,417
利益剰余金	124,788	129,571
自己株式	△1,368	△2,950
株主資本合計	139,064	142,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,814	10,599
繰延ヘッジ損益	114	101
為替換算調整勘定	△196	△3,270
退職給付に係る調整累計額	△599	△628
その他の包括利益累計額合計	9,133	6,801
非支配株主持分	31,597	31,739
純資産合計	179,795	180,804
負債純資産合計	287,106	287,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	210,622	212,172
売上原価	127,706	130,168
売上総利益	82,915	82,004
販売費及び一般管理費	67,900	69,167
営業利益	15,015	12,836
営業外収益		
受取配当金	553	585
その他	512	697
営業外収益合計	1,065	1,283
営業外費用		
支払利息	276	303
為替差損	88	209
その他	296	315
営業外費用合計	661	829
経常利益	15,420	13,290
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1,130
受取保険金	71	—
その他	9	163
特別利益合計	81	1,294
特別損失		
固定資産除売却損	128	233
減損損失	696	—
環境対策引当金繰入額	—	415
その他	249	139
特別損失合計	1,075	787
税金等調整前四半期純利益	14,426	13,797
法人税、住民税及び事業税	4,627	4,019
法人税等調整額	△310	305
法人税等合計	4,316	4,324
四半期純利益	10,110	9,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,157	1,172
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,952	8,300

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	10,110	9,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,641	785
繰延ヘッジ損益	214	△13
為替換算調整勘定	△875	△3,820
退職給付に係る調整額	△0	△18
その他の包括利益合計	△3,302	△3,067
四半期包括利益	6,807	6,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,931	5,969
非支配株主に係る四半期包括利益	875	436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(以下、「ASU第2014-09号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。ASU第2014-09号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、借手は、原則としてすべてのリースについて、適用開始日に資産および負債を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	118,520	56,625	25,480	200,626	9,996	210,622	0	210,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	481	217	407	1,106	15,597	16,703	△16,703	—
計	119,001	56,843	25,888	201,732	25,593	227,326	△16,703	210,622
セグメント利益	6,683	3,230	3,432	13,346	1,651	14,997	18	15,015

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去55百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△37百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、遊休化が見込まれる当該事業用資産および事業譲渡予定資産にかかる減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては696百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	118,411	60,214	24,557	203,183	8,984	212,167	5	212,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	485	246	1	733	15,660	16,394	△16,394	—
計	118,897	60,461	24,558	203,917	24,644	228,562	△16,389	212,172
セグメント利益	4,983	2,313	3,879	11,176	1,716	12,892	△56	12,836

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去36百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△92百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社は、2020年1月23日開催の取締役会において、同社の連結子会社であるTakara Bio USA Inc. (以下、「TBUSA」という。)で以下の設備投資を行うことを決定いたしました。

1. 設備投資の目的

TBUSAの新たな事業所として使用することを目的としております。なお、同社は、2021年8月の現事業所の賃貸契約終了に合わせて、新事業所へ移転する予定であります。

2. 設備投資の内容

- | | |
|----------|--------------------|
| (1) 所在地 | 米国 カリフォルニア州バイエリア地区 |
| (2) 用途 | 新事業所用地・建物および内装工事等 |
| (3) 投資金額 | 約76百万米ドル |

3. 設備の導入時期

- | | |
|-------|----------|
| 2020年 | 土地・建物取得 |
| 2021年 | 内装工事完了予定 |
| 2021年 | 移転完了予定 |

4. 当該設備が営業・生産活動におよぼす重大な影響

当連結会計年度の業績に与える影響はありません。

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2019年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

「宝グループ中期経営計画2019」に掲げる「健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する」という財務方針に基づき、資本効率の向上を図るとともに、1株当たりの株主価値を高め、株主の皆様への利益還元を充実させるために、自己株式の取得を行います。

また、これに合わせ、当社の自己株式の保有方針に則り、自己株式の消却を行うものであります。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 200万株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.00%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 20億円 (上限) |
| (4) 株式の取得期間 | 2019年11月18日から2020年1月17日まで |
| (5) 株式の取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. 自己株式の消却の内容

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 200万株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 0.99%) |
| (3) 消却日 | 2020年1月31日 |

上記取締役会決議に基づき、次の通り自己株式の取得及び消却を実施いたしました。

自己株式の取得

- | | |
|----------------|--------------------------|
| (1) 取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得した株式の総数 | 1,925,300株 |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,999,916,400円 |
| (4) 株式の取得期間 | 2019年11月18日から2020年1月9日まで |
| (5) 株式の取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

自己株式の消却

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却した株式の総数 | 200万株 |
| (3) 消却日 | 2020年1月31日 |